

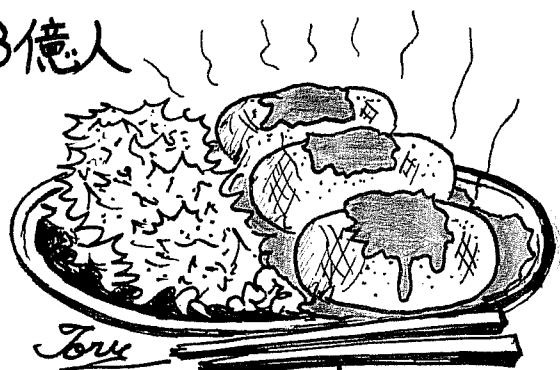


66号平成26年11月1日
作成者 池部 徹
～不足が不足?～

「おかあさん、今日学校の畑でじゃがいも収穫したよ!」
「どれどれ…立派なジャガイモやね～今日の晩御飯は一
緒にコロッケ作ろうかね。」「やった～!!」 カレーがおいしい!!

日本の食糧廃棄率は世界第1位の約17%、毎年1,940万
トンの食品(企業45%家庭55%)を廃棄しています。
なんと日本円で約11兆円だそうです。
これはイギリスやフランスなど数千万人の国の1年分の
食料を賄える糧です。…贅沢極まりないです…
廃棄分まで見越して作らなければならない企業の実情?
残ったら捨てるはよい的な家庭の食糧事情にも?です。

一方世界の飢餓人口は現在約8億人
毎年約1,500万人の子ども達
の命が失われています。
恐ろしい現実です。



日本では千円もあれば、
ファストフード、中華、洋食、何でも食べられる飽食。車や携帯電話
をもっと不景気だ、夢が持てないと嘆く若者たち…。

あの食卓を懐かしく思い出しながら、母がよく語ってく
れる「今にモノ不足の時代が来る…」今必要なんじゃ
ないかなあ〜って平和呆けの私も考えてしまうほどです。
本当に不足が不足している時代です。